

## フランソワーズ・バレ＝デュクロ

パリ第7大学（ドゥニ・ディドロ）教授（イギリス史）

### 学位

---

1987 国家博士号（文学および人文科学）  
パリ第4大学（ソルボンヌ）

### 経歴

---

1987-1991 パリ第7大学（ドゥニ・ディドロ）助教授（イギリス史講座）  
1991～現在 パリ第7大学（ドゥニ・ディドロ）教授（イギリス史講座）  
1992-1993 文化教育省の依頼で Académie Universelle des Cultures の創設を担当  
1993～現在 Académie Universelle des Cultures 事務局長  
2002～現在 アリアンス・フランセーズ評議委員会委員  
2005～現在 Maison des Cultures du Monde 評議委員会委員  
2006～現在 女性、性およびジェンダー研究の普及を目的としたエミリー・デュ・シャトレ研究所所長

### 教育活動

---

#### 主要テーマ：

- － 19-20 世紀イギリスにおける経済権力、政治権力およびイデオロギー権力
- － ヴィクトリア期およびエドワード期の社会における価値観と思想
- － 「福祉国家(Welfare-State)」の概念と実践
- － 行動の歴史、表象の歴史、家族、セクシュアリティと結婚の歴史

### 研究活動

---

- － パリ第7大学（ドゥニ・ディドロ）女性研究グループ共同責任者（1978-1985年）
- － 研究グループ「ヴィクトリア期における道徳的価値観」創設者
- － 研究グループ「民主主義における女性の位置：女性と政治、生殖と性差」創設者
- － 1990年より、パリ第7大学（ドゥニ・ディドロ）「イギリスと西ヨーロッパに関する研究センター（CRIBE）」センター長

### シンポジウム

---

1982 研究・テクノロジー省および女性権利省（いずれも当時）後援のもと開催された第1回全仏女性研究シンポジウム（共同主催者）トゥールーズ大学  
1988 シンポジウム「社会の危機、フェミニズムと変化」（共同主催者）パリ第4大学（ソルボンヌ）  
2000 シンポジウム「1942-1990年のイギリスにおける貧困と格差：女性の運命」（主催者）パリ第7大学（ドゥニ・ディドロ）「イギリスと西ヨーロッパに関する研究センター（CRIBE）」、ブリティッシュ・カウンスル  
2003 研究会「学校における男女間の格差の再生産と防止：フランスとイギリスの比較研究」フランスとイギリスのイスラム女性に関する研究会  
2003 「妊娠と母性」をめぐる研究会  
2004 「“学校で成績がよいことは女々しいことだと男子児童は考えている”（1998年のデイリー・ミラー紙の記事より）」ことをめぐる研究会  
2004 英仏シンポジウム「フランスとイギリスにおける性差の教育の総括（1970-2004年）」  
2005 英仏シンポジウム「フランスとイギリスの大学における性差の教育の総括（1970-2005年）」

## 主要業績:

- 
- 1972 *Youth in Contemporary Britain*, Paris, Masson.
- 1989 *L'amour sous Victoria, sexualité et classes populaires à Londres au XIXe siècle*  
Paris, Plon  
traduction anglaise : Verso, Londres ; Routledge, New York (août 1991)  
Penguin/Viking (janvier 1993)
- 1991 *Pauvreté, charité et morale à Londres au XIXe siècle, une sainte violence*,  
Paris, Presses universitaires de France
- 1994 *Intervenir ? Droits de la personne et raisons d'Etat*  
ouvrage dirigé par Françoise Barret-Ducrocq, avec Elie Wiesel, Toni Morrison,  
Wole Soyinka, Dame Gilian Wagner, Umberto Eco, Paul Ricoeur, Bernard  
Kouchner, Philippe Morillon et al, Paris, Grasset.
- 1997 *Femmes en tête*, Paris, Flammarion.
- 1998 *L'Intolérance*, ouvrage dirigé par Françoise Barret-Ducrocq avec Elie Wiesel, Paul Ricoeur,  
Jacqueline de Romilly, Umberto Eco, Jacques Le Goff, Wole Soyinka, Jorge Semprun, *et al.*, Paris,  
Grasset.
- 1999 *Mary Wollstonecraft*, Paris, Didier Erudition.
- 2000 *Le mouvement féministe anglais d'hier à aujourd'hui*, Paris, Ellipses.